



郷土資料館 開館1周年記念イベント

豊中市は、令和4年11月1日にオープンした郷土資料館（庄内栄町5丁目4-14）の開館1周年を記念して、「庄内式土器」をテーマにした特別展と大阪大学と連携した記念講演会を開催します。また、同館により親しみを持ってもらうために愛称を募集します。

特別展「庄内式土器～豊中で発見された卑弥呼の時代の土器～」の概要 ※観覧無料

旧庄内小学校の建設工事中に発見された土器は、弥生時代から古墳時代へと移り変わる「卑弥呼の時代」に作られたことが判明。年代を測る考古学上の重要な物差しの一つとなり、後に発見場所にちなんで「庄内式土器」と名称がつけられました。この展示では、土器発見のきっかけや、土器が使用された時代の紹介とともに、同じ時代の各地の土器を展示します。

会期 10月17日（火）～12月17日（日）

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌平日）、11月7日（火）、11月24日（金）

時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

場所 同館1階 企画展示室



庄内式土器



庄内式土器の特徴である尖り底

関連イベント

① 展示解説

日時：10月29日（日）、11月28日（火）午後1時30分～午後2時

場所：同館1階 企画展示室

申し込み：当日開始時間までに会場

② 特別展の見どころ講座

日時：11月18日（土）午後3時～午後3時45分

〈次ページあり〉



場所：同館3階 講座室

定員：80人

申し込み：当日午後2時30分から会場。先着順。

記念講演会の概要 ※参加無料

奈良県立橿原考古学研究所共同研究員・森岡秀人さん、和歌山県立紀伊風土記の丘主査学芸員・田中元浩さんによる庄内式土器に関する講演のほか、大阪大学埋蔵文化財調査室助教・上田直弥さんを加えたパネルディスカッションを行います。

日時 11月12日（日）午後1時30分～午後3時45分

場所 同館3階 講座室

定員 80人（1組4人まで）

申し込み 10月20日（金）までに電子申込システムまたは往復はがき（消印有効）。抽選。

愛称募集の概要

募集期間 9月28日（木）～11月12日（日）

申し込み 所定の用紙に記入し同館ロビーの投票箱または郵送、ファクス、メール、電子申込システム。

詳細はこちら

<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/shisetsu/hall/kyodosiryokan/issyunenkinen.html>

【報道機関からの問い合わせ先】

教育委員会事務局 社会教育課 郷土資料館

担当：中村美琴 TEL：06-6334-2551

E-mail：shiryokan@city.toyonaka.osaka.jp